

鶴亀算 ⑥

10円玉と50円玉と100円玉が合計で45枚あります。
 合計金額は1980円です。
 10円玉と50円玉と100円玉はそれぞれ何枚ありますか。

まず 10円玉と50円玉を平均の30円とします。
 45枚あるお金をすべて30円だと考えます。
 30円が45枚 1350円
 これだと余っている金額は630円
 $1980 - 1350 = 630$ 円
 余っている金額を100円玉に変えるので
 $630 \div 70 = 9$ 枚
 そうなると100円玉は9枚になり、
 10円玉と50円玉はそれぞれ18枚ずつ。
 $45 - 9 = 36$ 枚

答え

10円玉 18枚
 50円玉 18枚
 100円玉 9枚



10円玉と50円玉と100円玉が合計で60枚あります。
 合計金額は2500円です。
 10円玉と50円玉と100円玉はそれぞれ何枚ありますか。

まず 10円玉と50円玉を平均の30円とします。
 60枚あるお金をすべて30円だと考えます。
 30円が60枚 1800円
 これだと余っている金額は700円
 $2500 - 1800 = 700$ 円
 余っている金額を100円玉に変えるので
 $700 \div 70 = 10$ 枚
 そうなると100円玉は10枚になり、
 10円玉と50円玉はそれぞれ25枚ずつ。
 $60 - 10 = 50$ 枚

答え

10円玉 25枚
 50円玉 25枚
 100円玉 10枚

